

「ヤタガラス」の暗号
に刻まれた
「神の救いの計画」

1 はじめに

2 約束の地

＝伊勢神宮の元の場所

＝「古代の神宮」の所在地

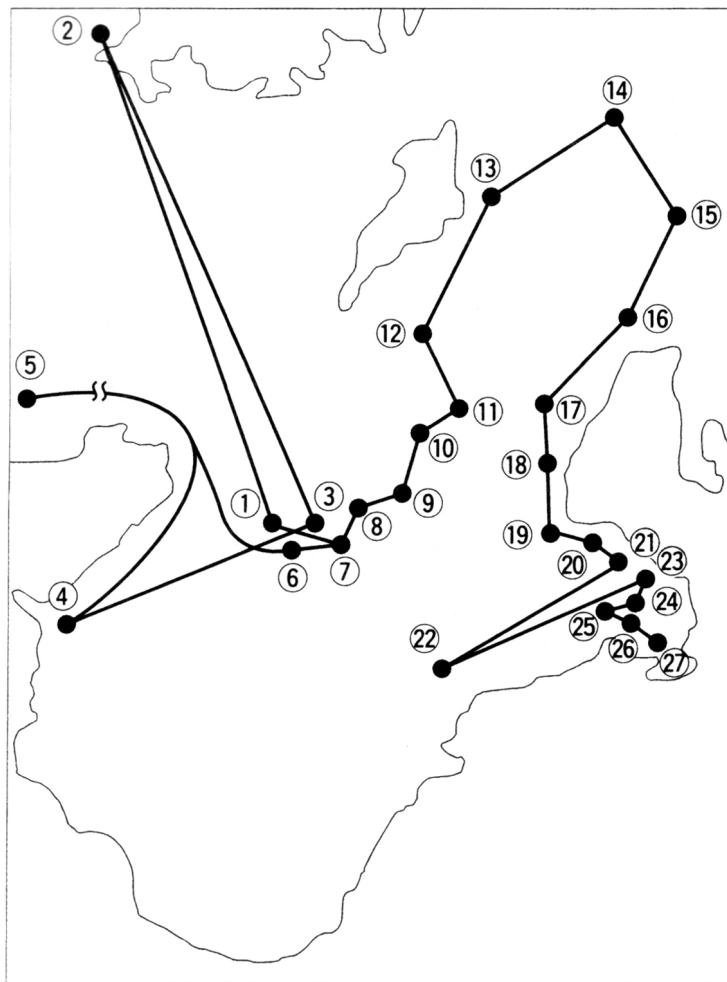
3 太陽の暗号

4 星の暗号

1 はじめに

- 太陽の暗号（1300年前頃） 星の暗号（4500年前頃）
 - 暗号者は秘密結社「ヤタガラス」
 - 暗号には「**神の救いの計画**」（宇宙の法則）が刻まれている
 - 「神の救いの計画」とは
地球の崩壊と再生の「**約束の時**」に、世界を再生するために「**約束の人**」が、神さまに定められた「**約束の地**」に甦る、という神さまのご計画。
 - 暗号が仕掛けられた目的は、地球の崩壊と再生の「約束の時」と「約束の人」を明らかにするためであり、それは「神の救いの計画」を実現し「約束の時」の人々（未来の子どもたち）を救うため。
- ※重要なのは暗号ではなく、そこに刻まれた「**神の救いの計画**」

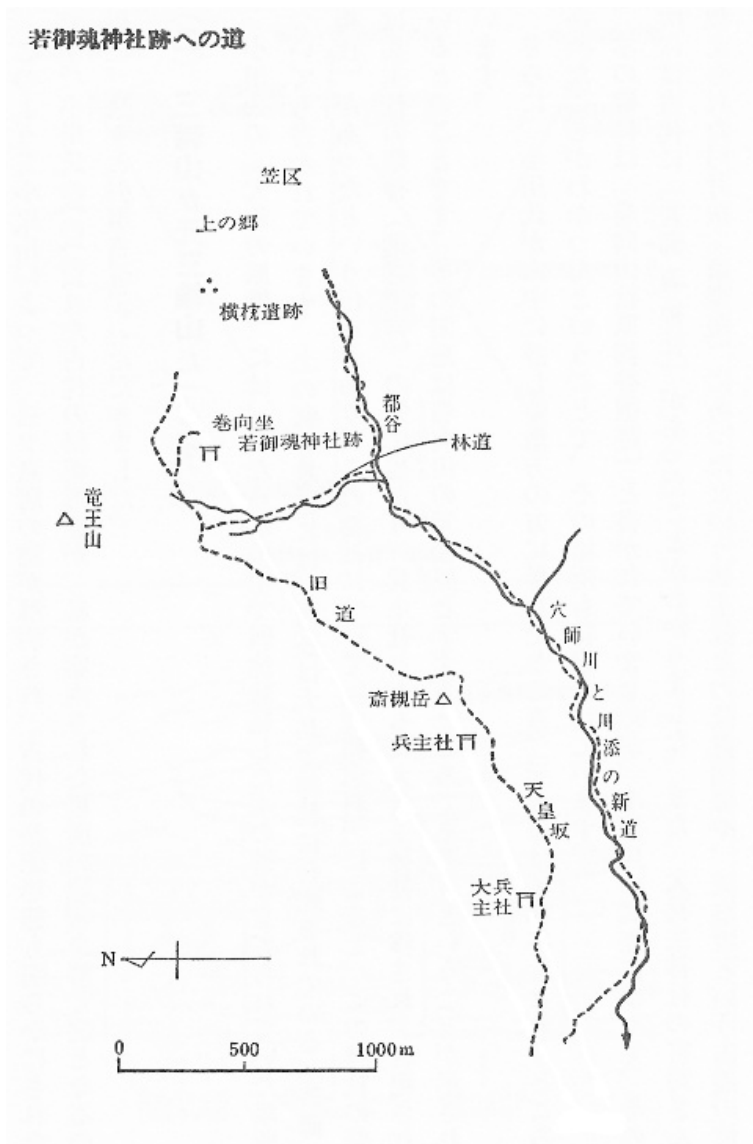
元伊勢伝承



↑元伊勢の順路。①笠縫呂、②吉佐宮、③伊豆加志本宮、④奈久佐宮、⑤名方浜宮、⑥御室嶺上宮、⑦宇多秋宮、⑧佐佐波多宮、⑨市守宮、⑩穴穂宮、⑪敢都美恵宮、⑫甲可日雲宮、⑬坂田宮、⑭伊久良河宮、⑮中嶋宮、⑯桑名野代宮、⑰奈其波志忍山宮、⑱藤方片樋宮、⑲飯野高宮、⑳佐佐牟江宮、㉑伊籬宮、㉒瀧原宮、㉓矢田宮、㉔家田田上宮、㉕奈尾之根宮、㉖五十鈴宮、㉗伊雑宮

(飛鳥昭雄・三神たける著『失われた契約の聖枢「アーク」の謎』学研より)

大兵主神社の「天皇坂の伝承」



(小川光三・著『大和の原像』より)

『大和志料』 (大神神社の宮司さんがまとめた地元の歴史書)

「約束の地」にあった「若御魂神社」は、
「元わかみむすび桧原」にあった

桧原神社

皇居から最初に天照大神 (=八咫鏡) を遷したところ

元桧原 = 天照大神 (=八咫鏡) の元の場所

➡ 「約束の地 (元桧原) ➡ 伊勢神宮の元の場所

➡ 「古代の神宮」の所在地

『竹内文書』（封印された古史古伝）

世界が「土の海」になるような大異変がかつて何度もあり、その度に日本の天皇（現人神）が世界各地に日本人を派遣して世界を建て直し、神聖政治によって世界を平和的に統治した。

内宮＝日本国内を統治する内政機関

外宮＝外国を統治する外政機関

➡古代の神宮＝世界の政庁

◆神さまは古代の**世界の政庁**に、「**最高神の住まい**」
を再現するという計画を持たれている

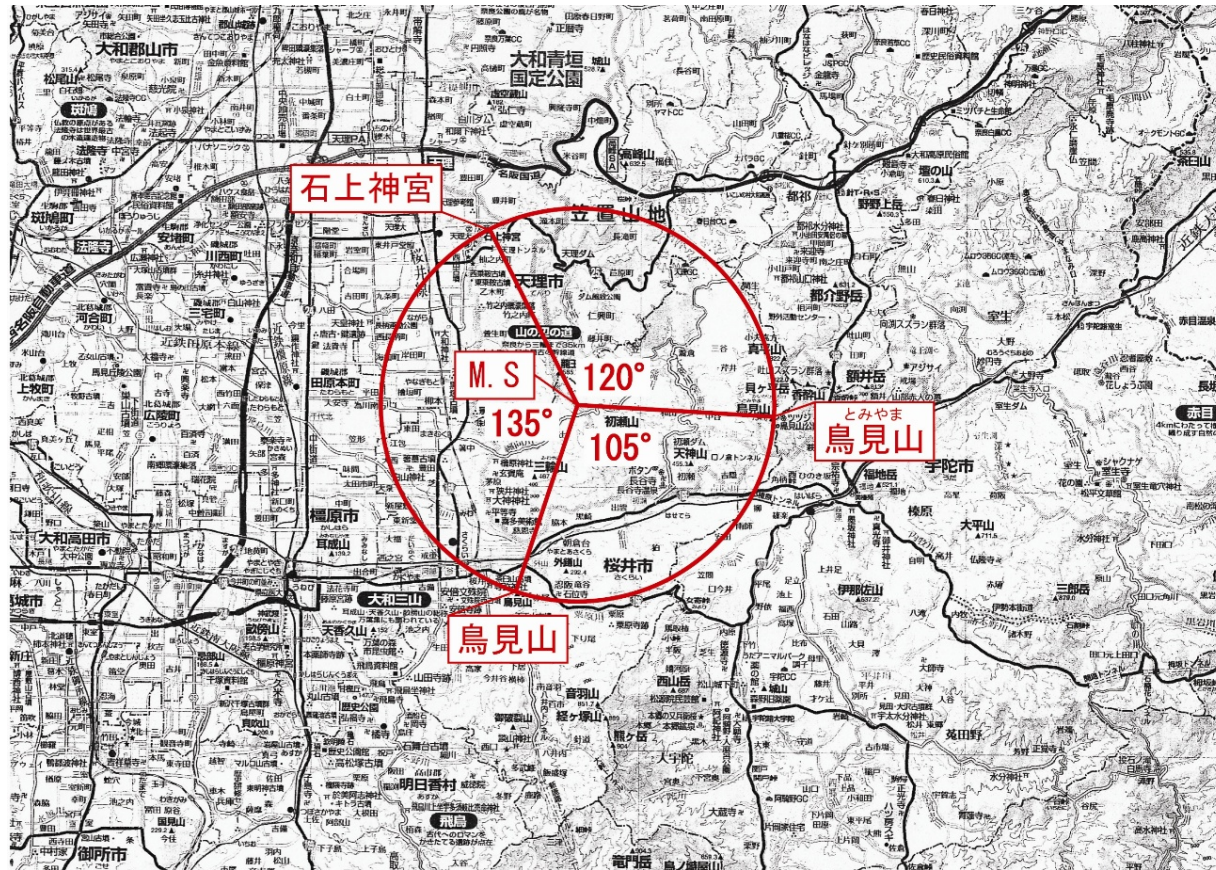
➡古代と同じように

日本が世界を立て直し、「約束の人」が甦らせた
神々の教えによる神聖政治によって、
再び、世界を平和的に統治するのではないか？

3 太陽の暗号

「約束の地」の「三羽の鳥」の暗号

桃尾の滝





↑じんむ神武天皇の弓先に止まったきんし金鷄。

- 鳥見山 = 「トミ山」 = 「トビ山」
- 鳥見 (トミ) = トビ = 鷄 = 金鷄
= 八咫鳥の大王
- 桃尾 = トウビ
- 3つの「トビ」(鷄) = 「三羽の鳥」

暗号者（秘密結社「ヤタガラス」）の発言

- 太古から大和朝廷に仕える陰陽集団
 - 日本に国仕掛けをした（暗号を仕掛けた）
 - 仕掛けの防御を打ち破り、日本の秘密を解きあかす（暗号を解読する）「解き放たれし者」と「預言されし者」を待っている（『失われたカッパーラ「陰陽道」の謎』学研）
- ➔ 「約束の地」の「三羽の鳥の円」は
秘密結社「ヤタガラス」仕掛けられた「暗号」

神武天皇が大嘗祭を行った場所の謎

・『日本書紀』 神武天皇4年春二月の条

まっりのにわ

「 霊 時 を鳥見山の中に立てて・・・」

暗号の仕掛け

- 暗号者は、「約束の時」に「約束の人」が現れる
「約束の地」を隠し、その場所の正確な位置がわからなければ、発見できない暗号を仕掛け、暗号を解読する「解き放たれし者」と「預言されし者」を待っている。

なぜ、このような不可解なことをしたのか？

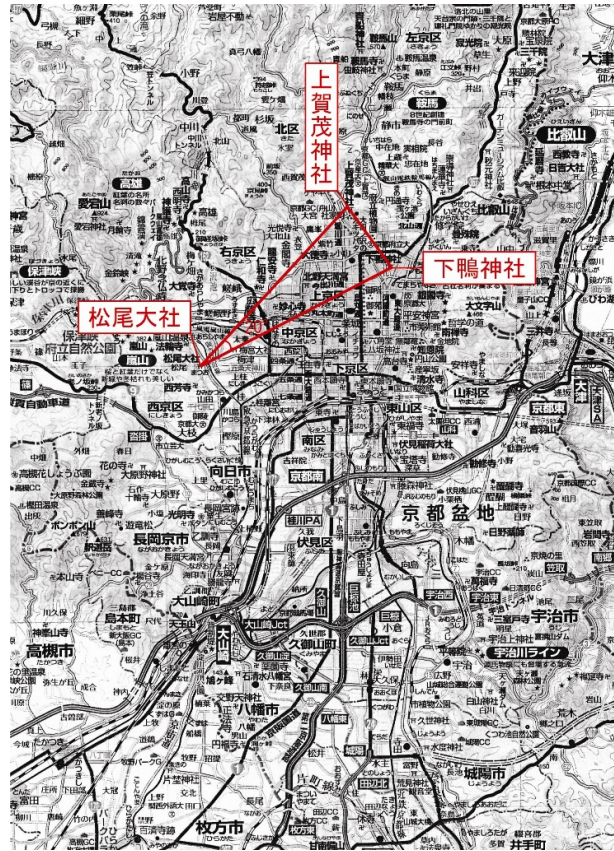
- ◆暗号者は「約束の時」には世界を再生するために、「約束の地」に「約束の人」が現れるという「神の救いの計画」（宇宙の法則）を、神に知らされた。
- ◆神は暗号者に、「約束の人」（預言されし者）と「約束の時」を明らかにするための仕掛け（暗号）をするように指示された。

◆そこで暗号者は、「約束の時」に「約束の人」が現れる
「約束の地」を隠し、その場所の正確な位置がわからなければ発見できない暗号を仕掛け、暗号を解読する
「解き放たれし者」と「預言されし者」（約束の人）の出現を待った

◆千年以上の時を待ったが、「神の救いの計画」のとおり
「解き放たれし者」と「預言されし者」（約束の人 香代子先生）が「約束の地」に現れ暗号が発見され解読された

➡神と「神の救いの計画」は、間違いなく存在する

二等辺三角形の「三羽の鳥」の暗号 (ヤタガラス=秦氏)



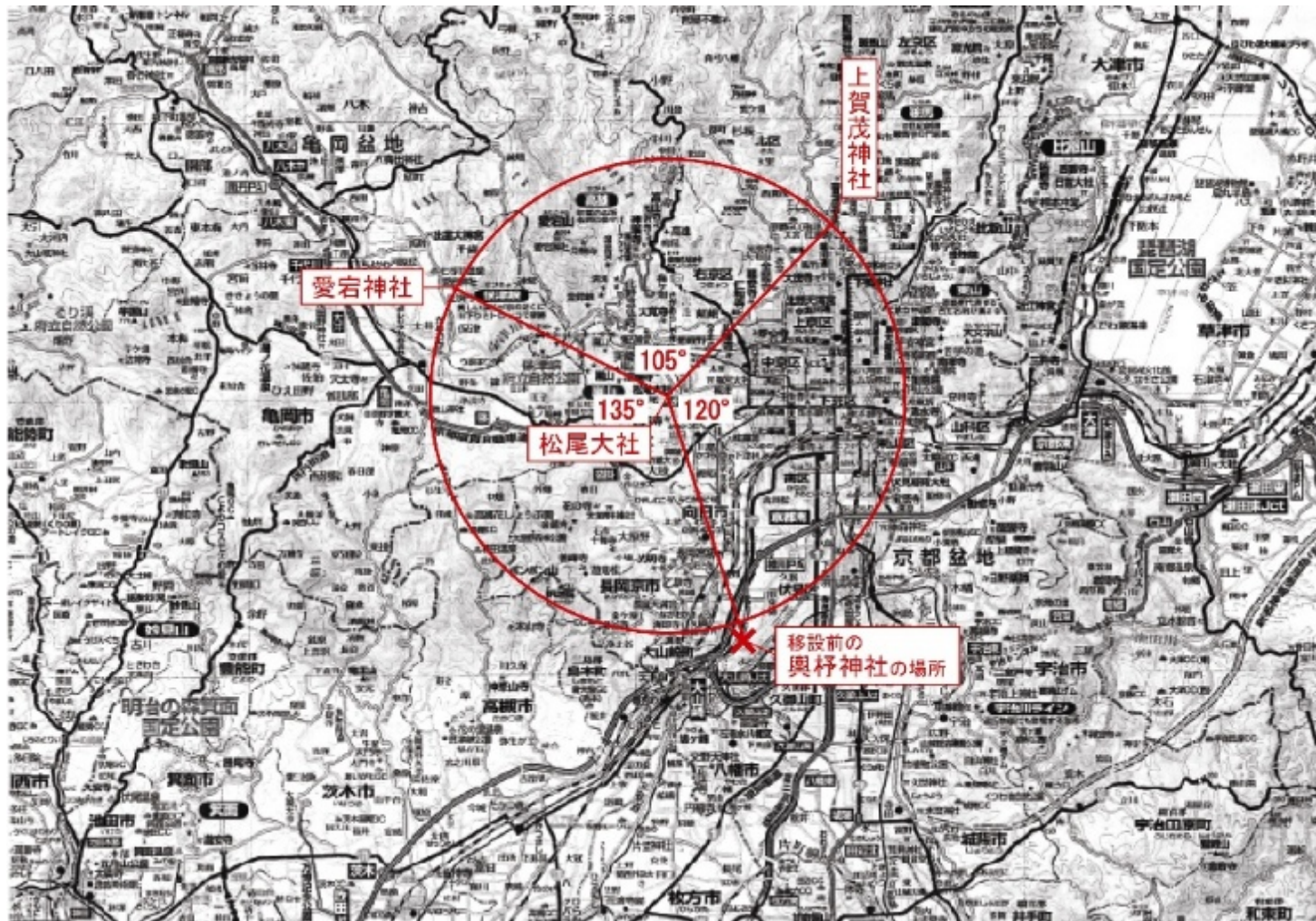
参考

「下鴨神社」=天皇の儀式いっさいを執り行う唯一無比の神社

➡ヤタガラス=裏天皇 (『失われた12使徒「八咫鳥」の謎』飛鳥昭雄・三神たける 学研)

京都の「カモ神社」の円の暗号





奈良県葛城地方の「カモ神社」の円の暗号



参考

「三羽の鳥」の暗号

三羽 = サンワ = 三つの円 ➡ 三輪 (円)

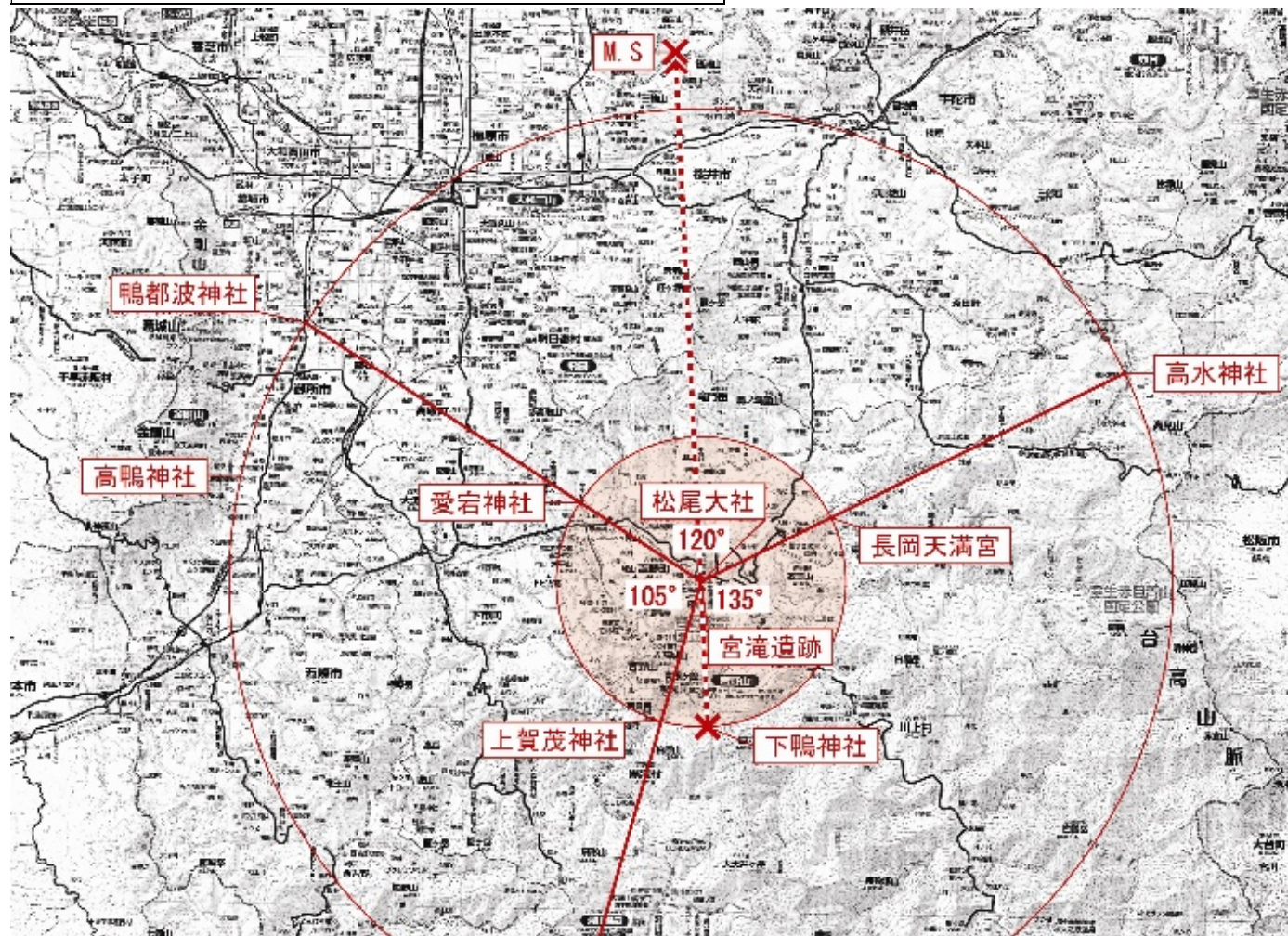
大神神社 = 大みわ神社 神 = 三輪 (三つの円)

➡ 「三つの円」に刻まれているのは「神の計画」

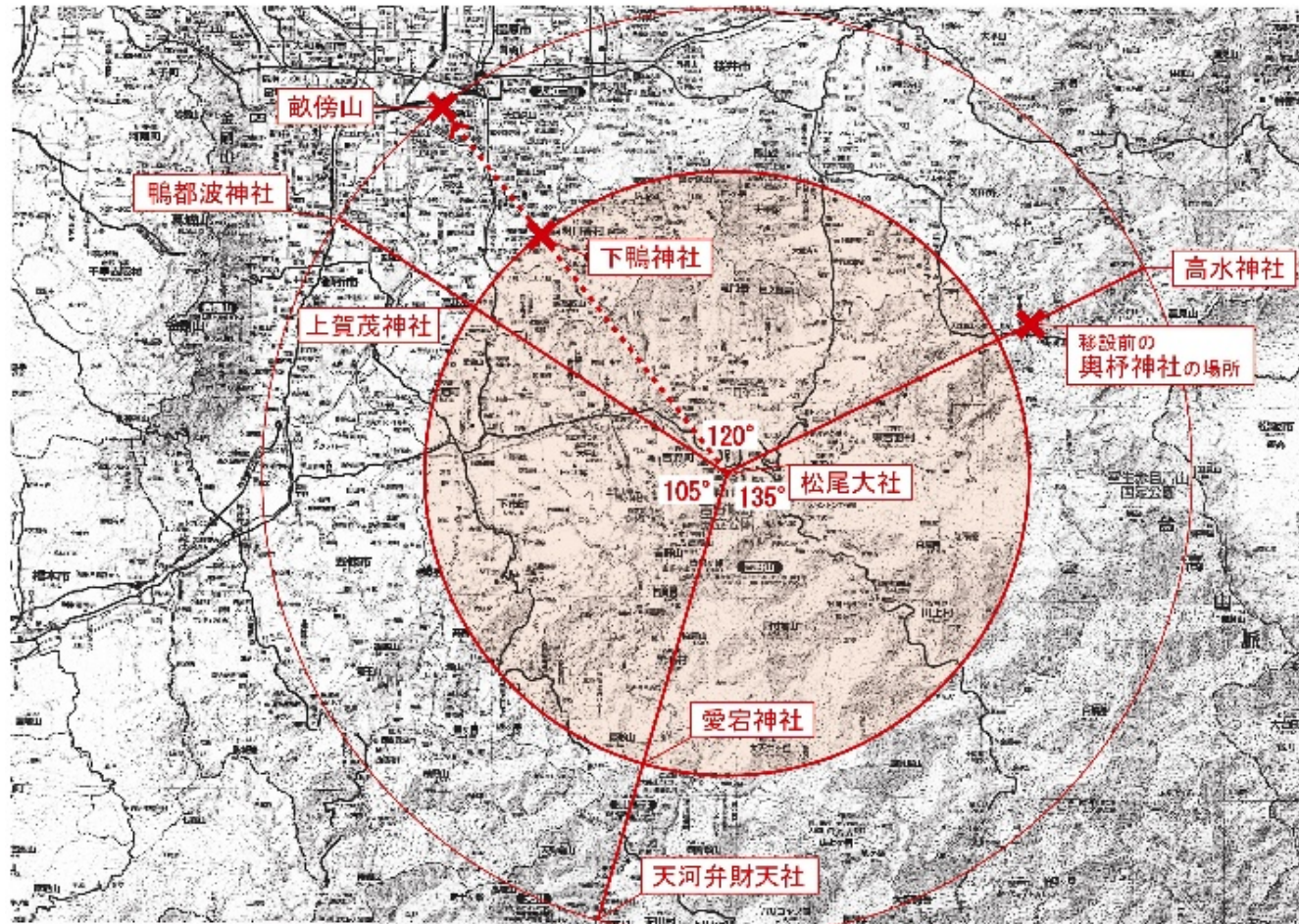
4つの円の暗号 5通りの円の重ね方 (暗号解読順)

- 1、葛城A円と京都B円 (向かい合わせ)
- 2、葛城A円と京都A円
- 3、葛城A円と約束の地B円 (向かい合わせ)
- 4、京都B円と約束の地B円
- 5、京都A円と約束の地B円 (向かい合わせ)

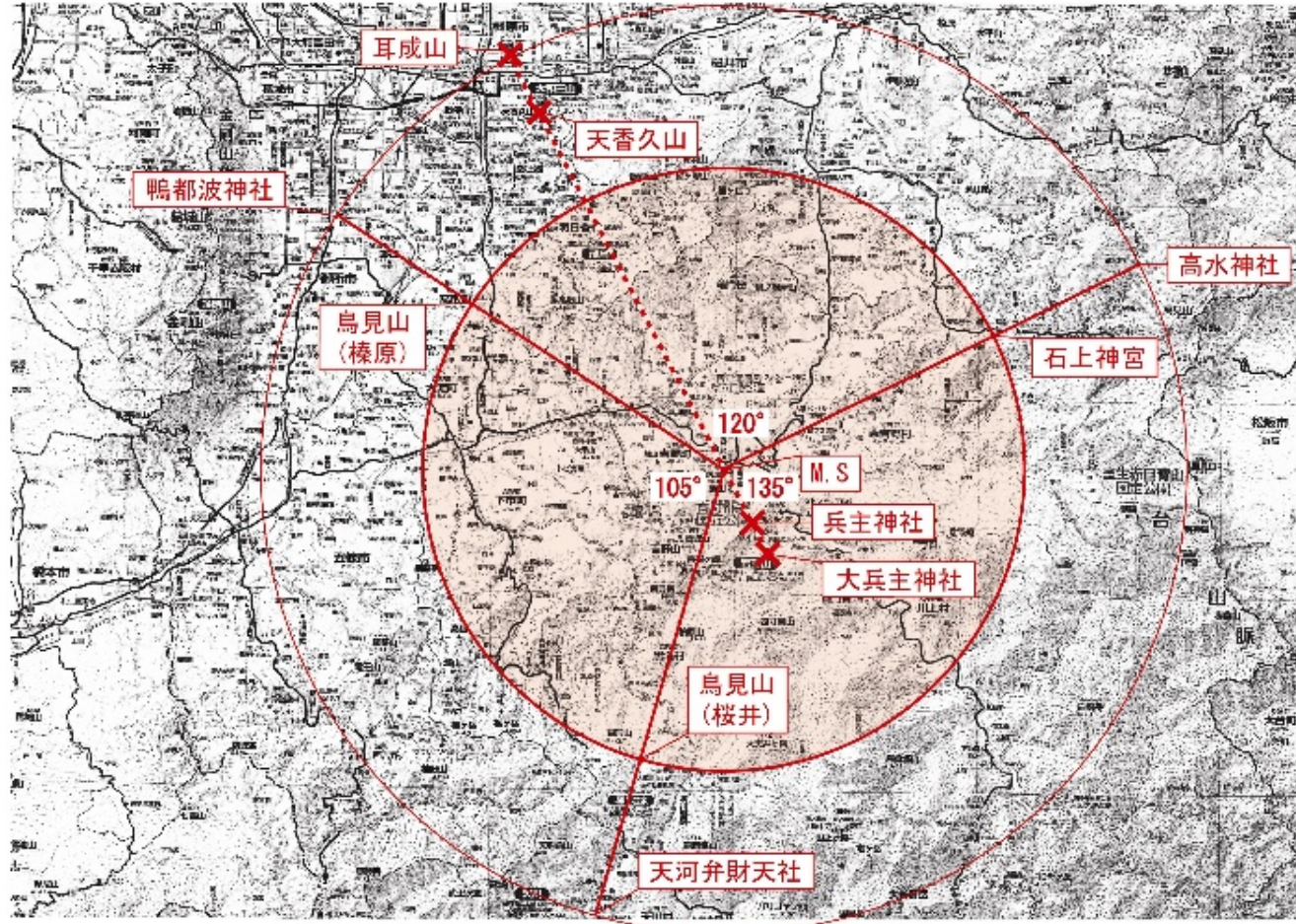
1、葛城A円と京都B円 (向かい合わせ)



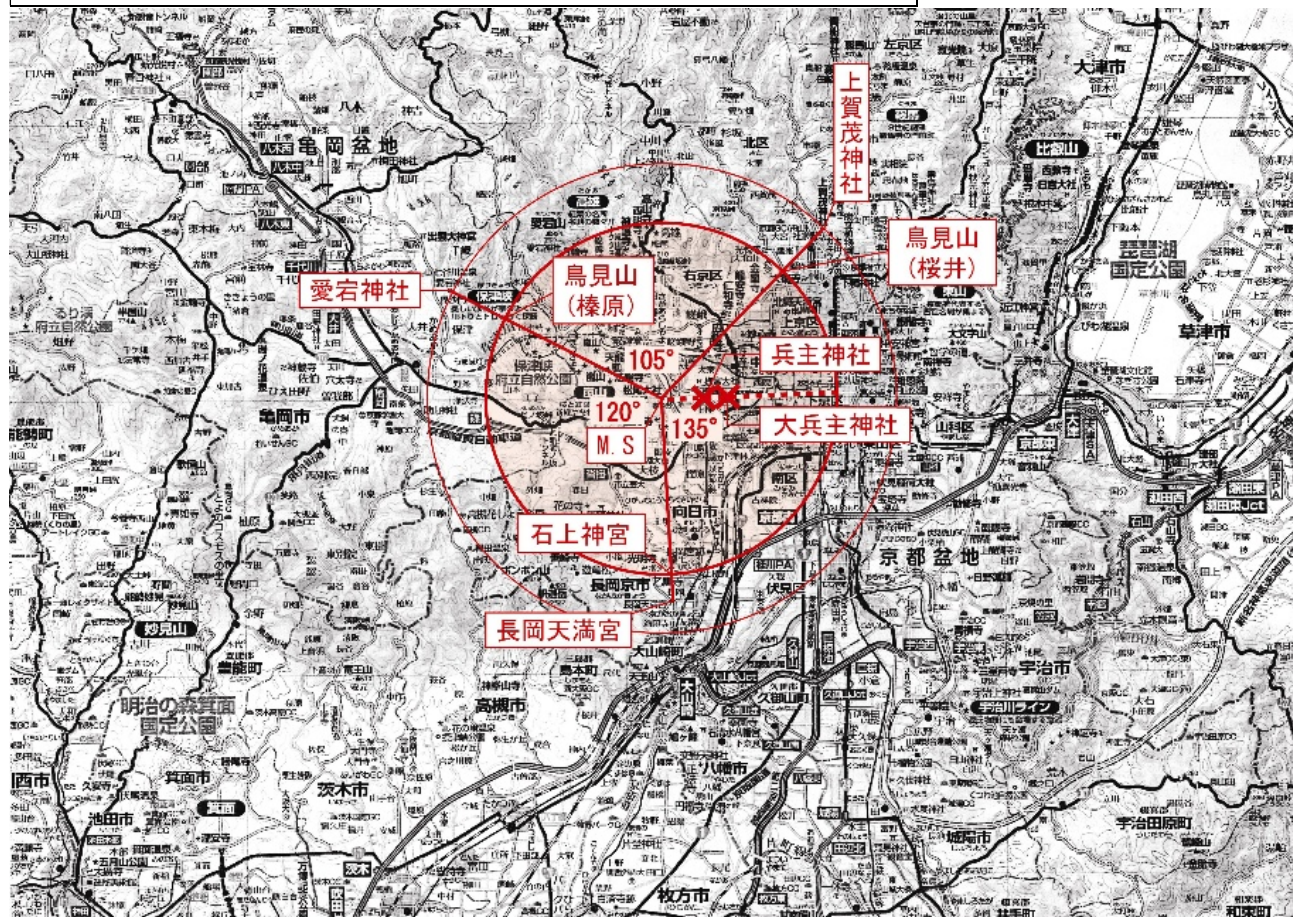
2、葛城A円と京都A円



3、葛城A円と約束の地B円（向かい合わせ）

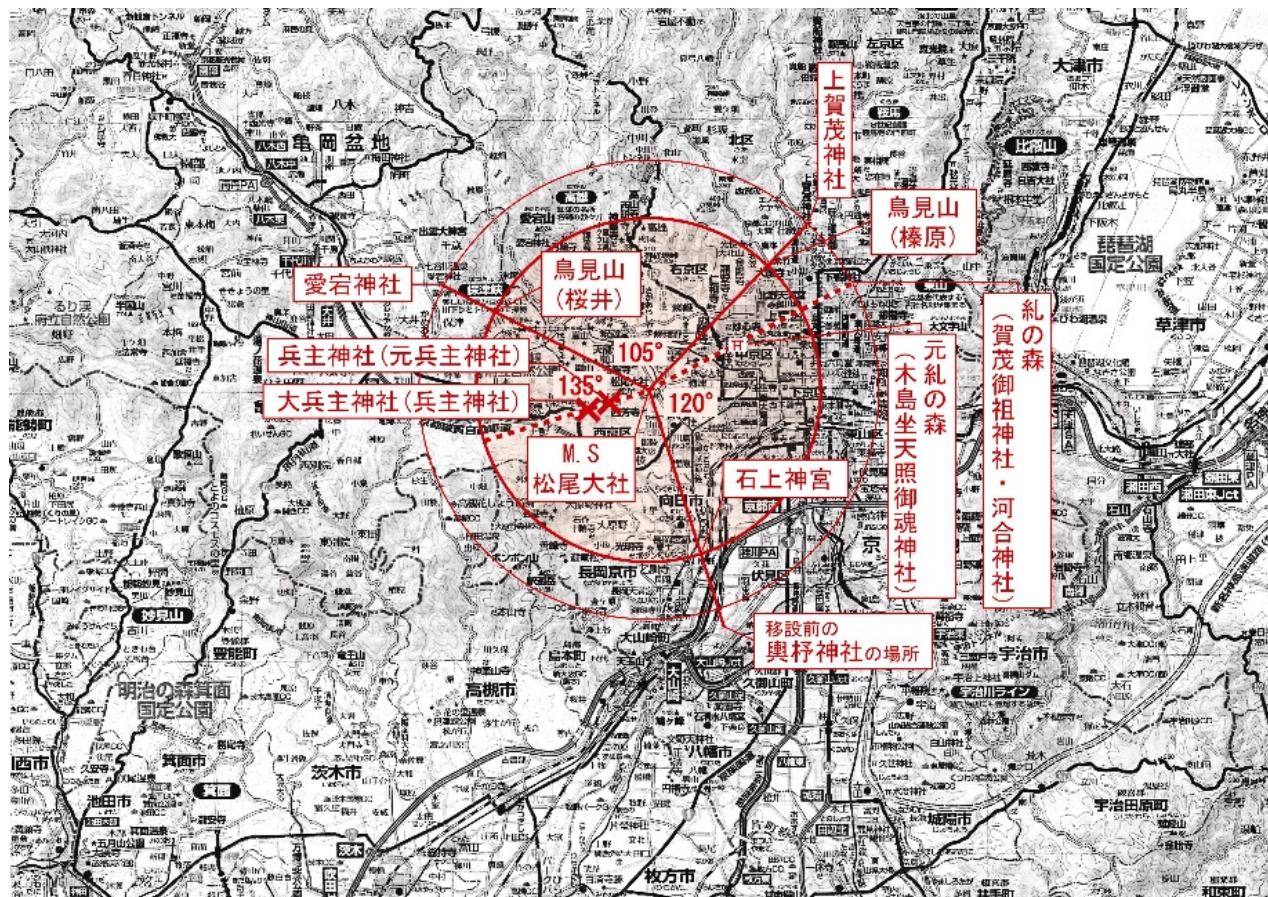


4、京都B円と約束の地B円



→M・S～大兵主ライン＝「東西ライン」

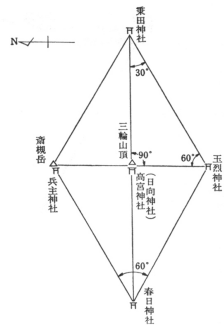
5、京都A円と約束の地B円 (向かい合わせ)



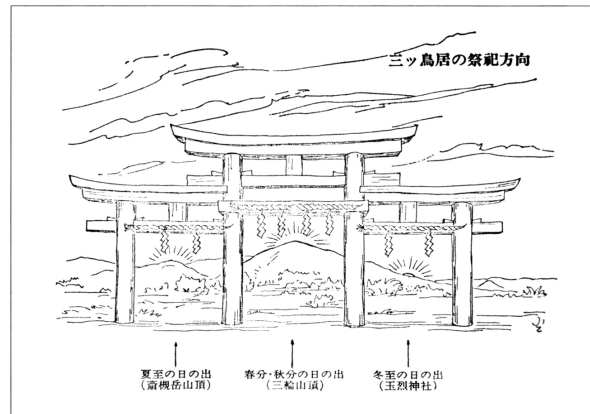
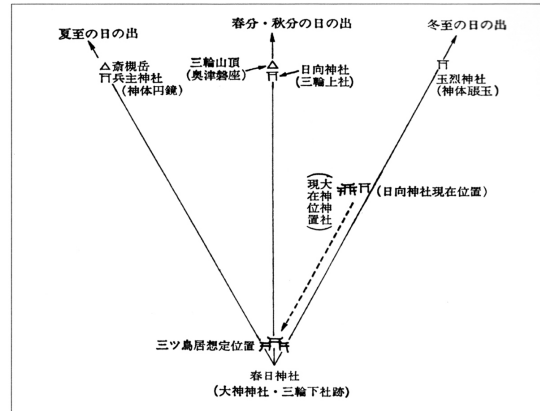
→ 2つの「夏至の日の出・冬至の日没ライン」

三ツ鳥居 (大神神社「三羽の鳥」の暗号の一つ)

不思議な三角形を示す五つの神社



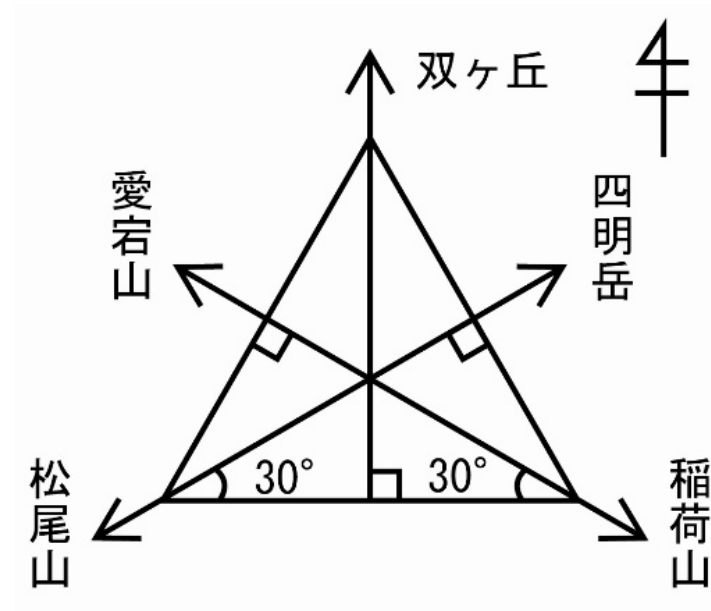
(小川光三・著『大和の原像』より)



(2点とも、小川光三・著『大和の原像』より)

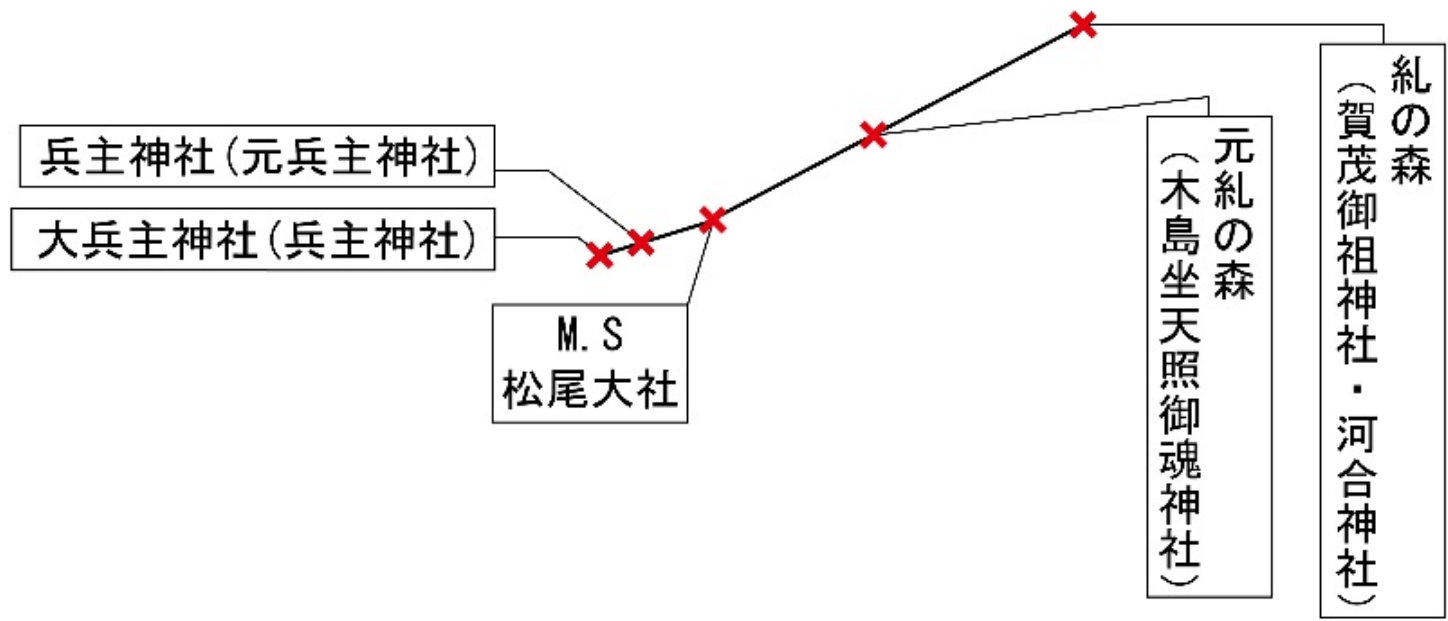
➡ 日の出と日の入りの方向に注目させるため

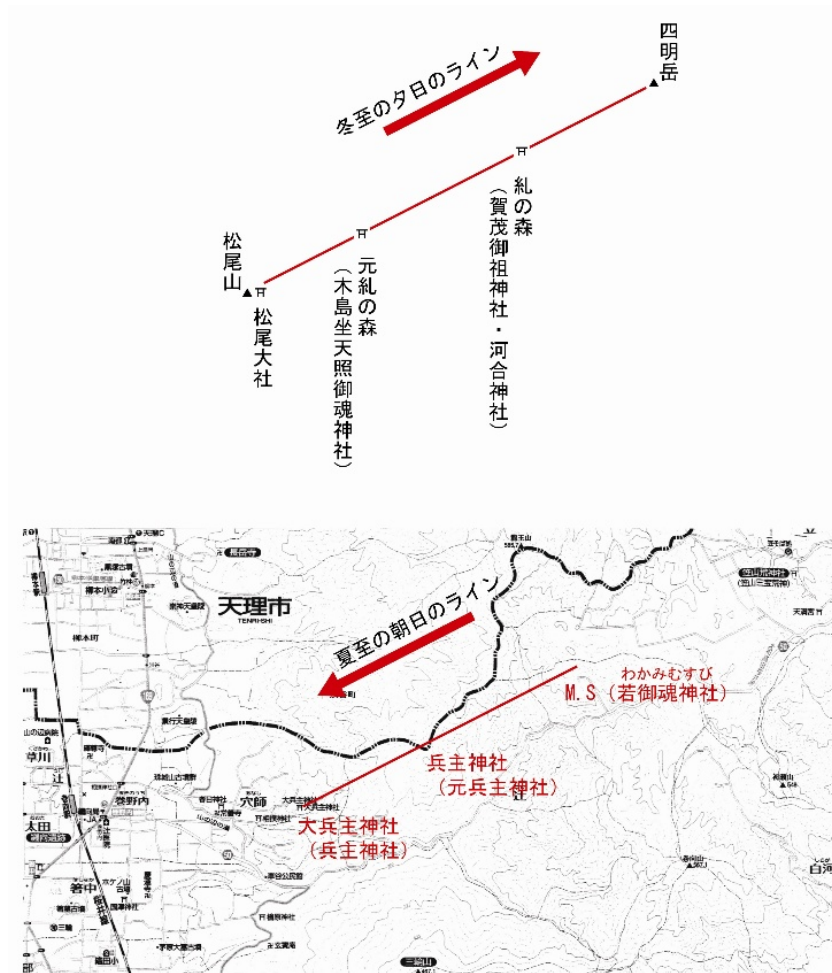
三柱鳥居 (蚕の社=元糺の森)



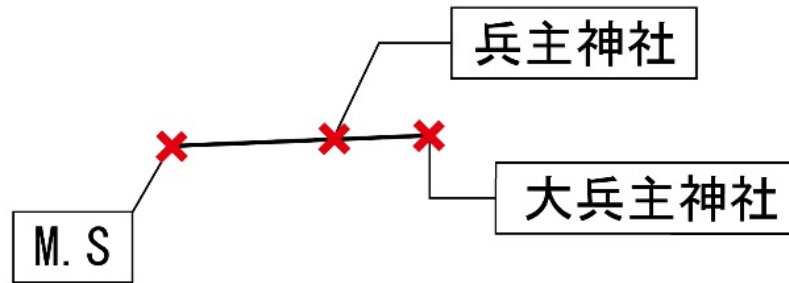
➡日の出と日の入りの方向に注目させるため

暗号解読





夏至の朝日 (神の復活) と 冬至の夕日 (神の死=岩戸隠れ) を強調



- ◆夏至の日の出、冬至の日没ライン ➡ 神の死と復活を象徴
 - ➡ 「神の世」を象徴
- ◆東西ライン ➡ 「人の世」を象徴

参考 神宮は桧原神社から真東（斎宮跡）に遷された（太陽の道）

- ➡伊勢神宮は神が復活するまでの「人の世」ために用意された神宮
- ➡ヤタガラスは「人の世」の型をつくった

太陽の暗号の解読文

「約束の地」から神が甦ると

「人の世」は終わり 「神の世」が始まる

天岩戸開き神話の暗号



- 榊（逆木）と鏡（左右反対＝逆さま）
- 天照大神を写した鏡（八咫鏡）＝「逆さまの神」＝伊勢神宮
- ➡神が復活するまでの「人の世」の間は「逆さまの神」を祀っている

参考 『日月神示』

「騙した岩戸からは騙した神が出て、嘘の世となったのぢや、この道理わかるであろう・・・」(第23卷11帖 503)

「・・・次の岩戸閉めは天照大神の時ぞ、大神はまだ岩戸の中にましますのぞ、騙した岩戸からは騙した神がおでましぞと知らしてあろう。いよいよとなってマコトの天照大神、天照皇大神、日の大神、揃うてお出まし近うなって来たぞ。・・・」(五十黙示録 第二卷 碧玉之卷 第十帖)

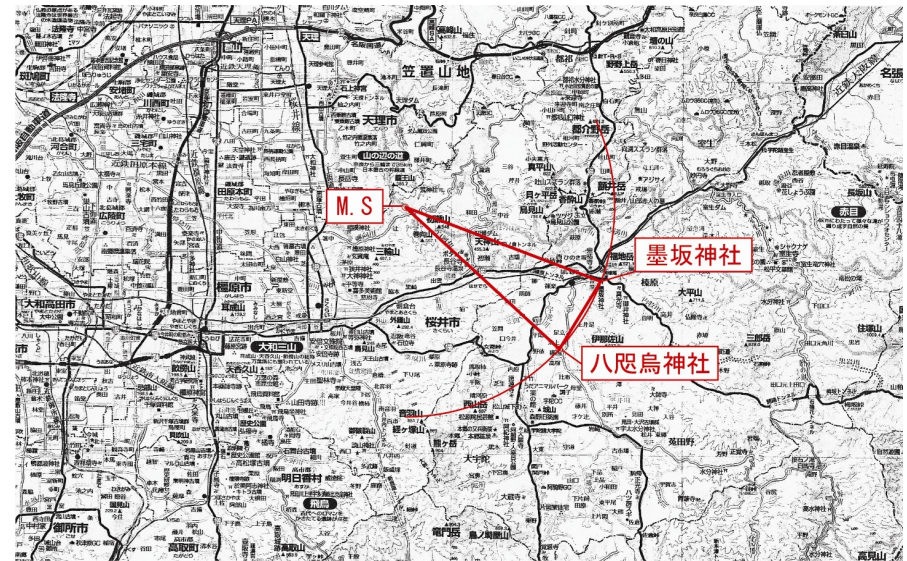
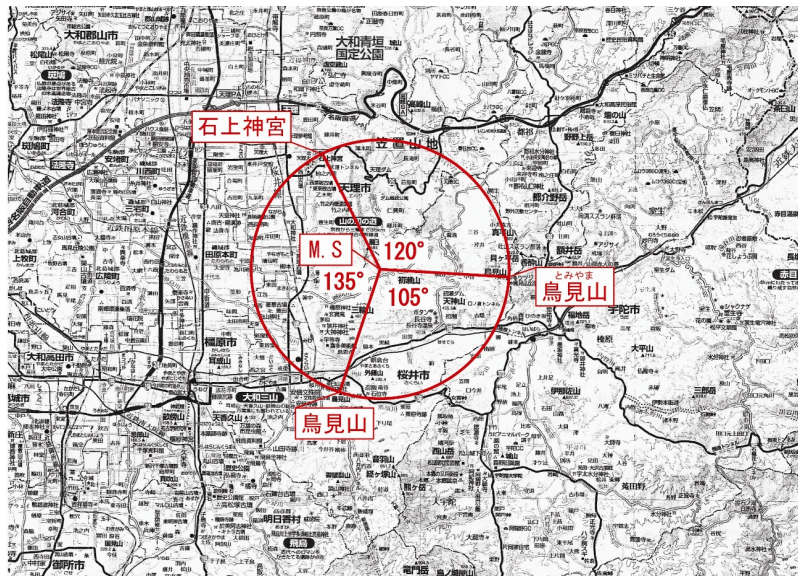
・枚岡神社の「お笑い神示」

参考 古事記の造化の三神=暗号名

天之御中主 (あめのみなかぬし=天の三中主)

高御産巢日 (たかみむすび=高三結び)

神産巢日 (かみむすび=下三結び)



参考 ヤタガラスの発言

「伊勢神宮が甦った後、地上に天照大神が降臨する。そのとき、だれもが天照大神の御姿をその目で見ることになる。そして伊勢神宮の使命もまたそれをもって終焉となる！！
(『失われたキリストの聖十字架 心御柱の謎』飛鳥昭雄・三神たける)

「ともに合するまで日は昇らない **カラス**が放たれても世に闇があり **鳩**が放たれても ^{またた}瞬きを知らず 再び鳩が大意をもって天に出ずる喜びのときまで」

これは、やがて**八咫鳥**から**八幡鳩**に支配権が移譲され、栄光の時に入るということ。それはイエスの再臨でもある。

八幡鳩

近い将来現れると預言されている、天界から遣わされる天使たちの組織

(『古代ヤダヤで読み解く物部氏と「アーク」の謎』飛鳥昭雄・杣浩二 文芸社 P294、P295)

・・・時が来れば、天皇陛下が持つ権能は、再臨した天照大神＝イエス・キリストに返還され、裏天皇である八咫鳥の任務も完了する。すべての預言が成就したとき、太陽という鳥籠から、別の鳥が地上へとやってくる。再臨するイエス・キリストとともに、**白い鳩**が地上へと舞い降りてくる。・・・

(『失われた八咫鳥の古史古伝「竹内文書」の謎』 飛鳥昭雄・三神たける 学研 P409)

【最も伝えたい重要なこと】

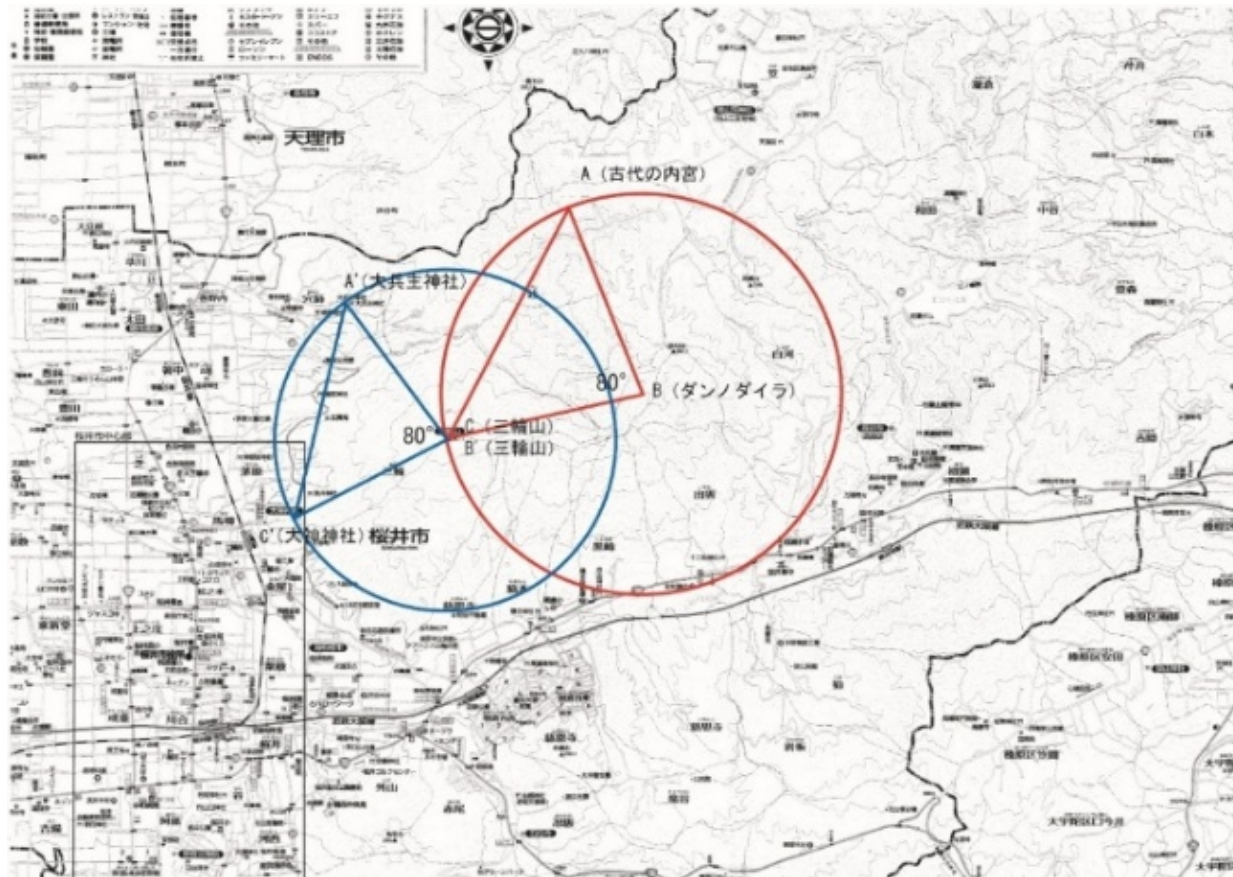
神と「神の救いの計画」は、間違いなく存在する

➡ ヤタガラスの暗号と「約束の人」が、このことを証明している

4 星の暗号

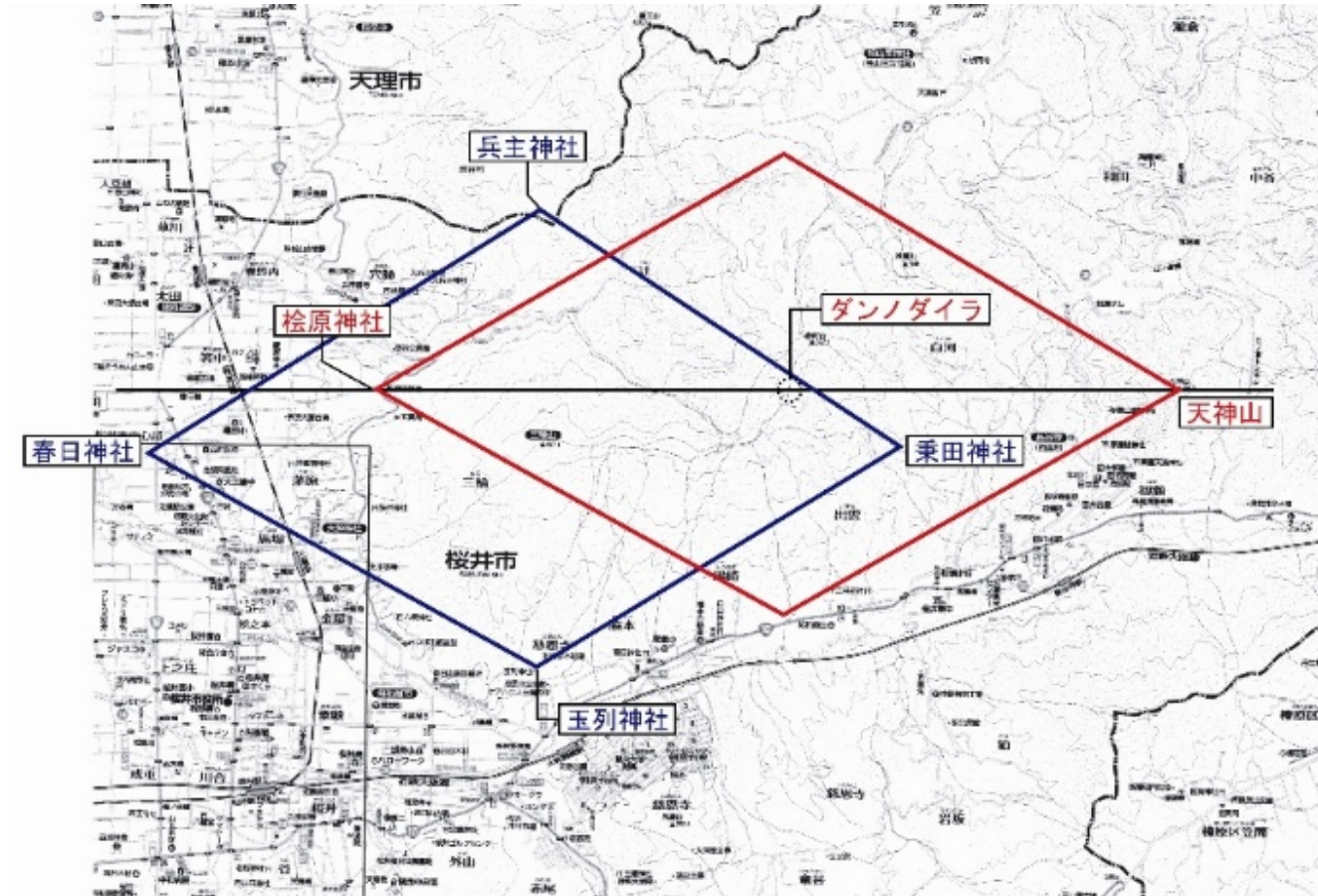
大和三山ピラミッドと元三輪山ダイヤ形

三輪山祭祀と元三輪山祭祀



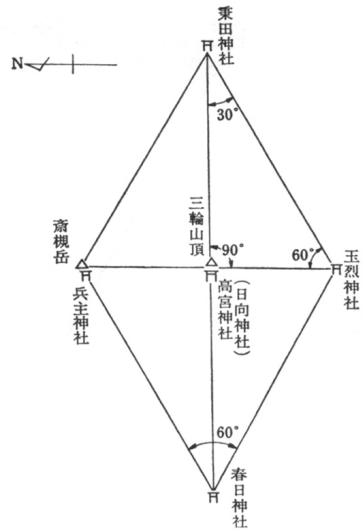
※三輪山は元の祭祀場を隠すために、「ヤタガラス」によって用意された

・三輪山ダイヤ形と元三輪山ダイヤ形

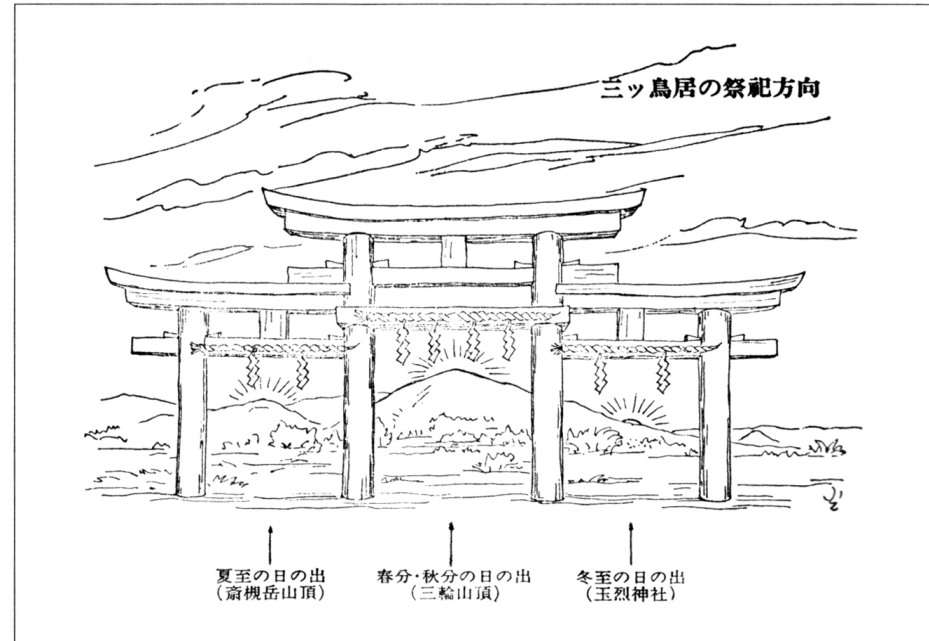
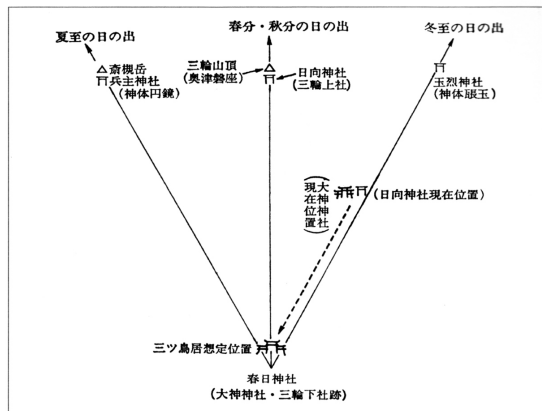


三ツ鳥居 (大神神社「三羽の鳥」の暗号の一つ)

不思議な三角形を示す五つの神社

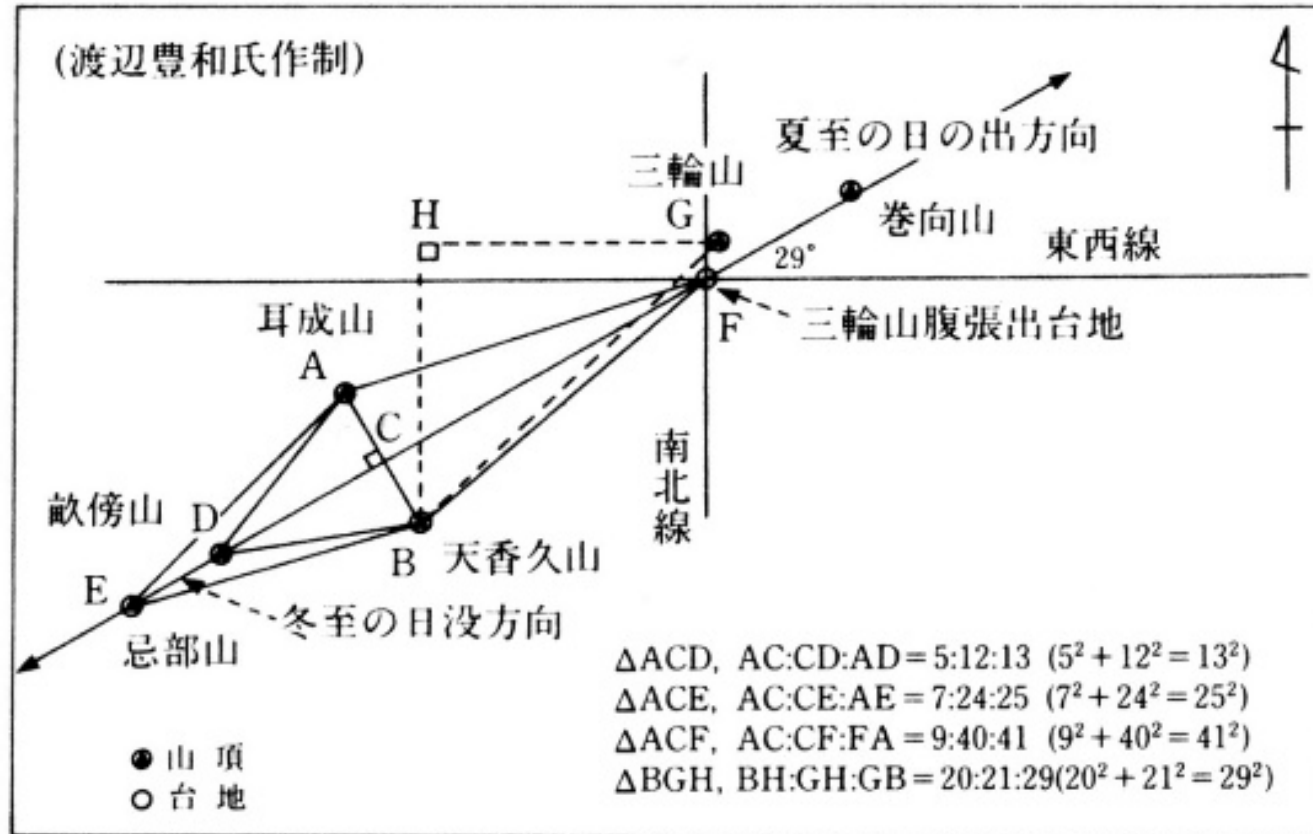


(小川光三・著『大和の原像』より)

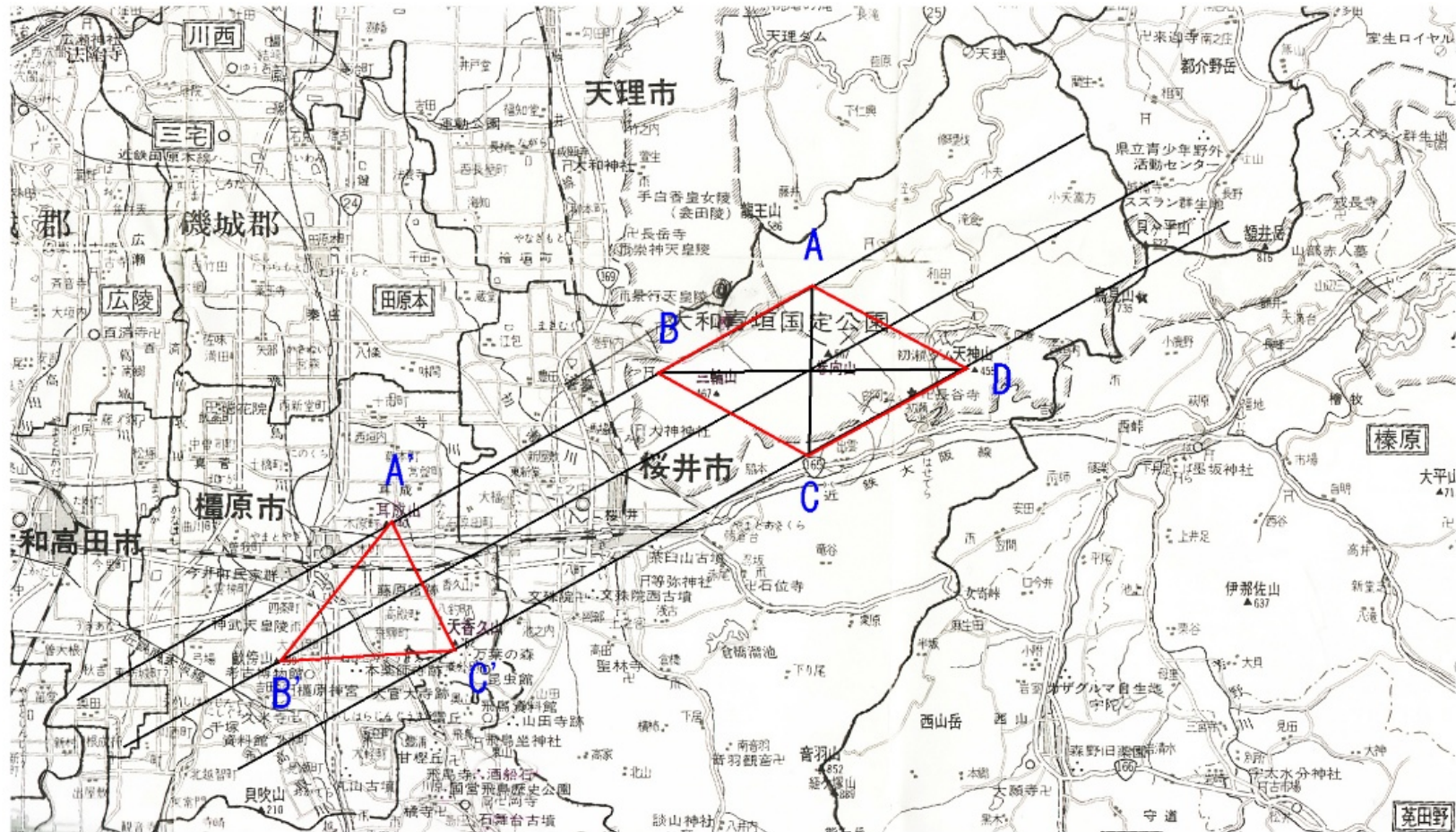


(2点とも、小川光三・著『大和の原像』より)

・大和三山ピラミッド



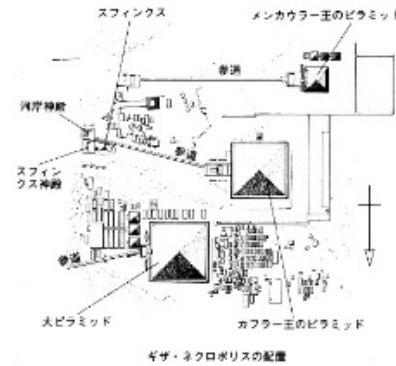
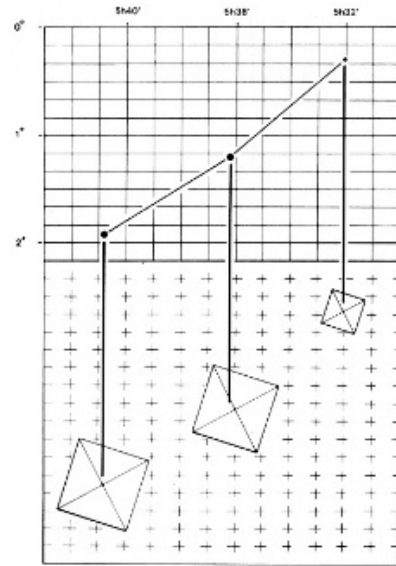
・大和三山ピラミッドと元三輪山ダイヤ形



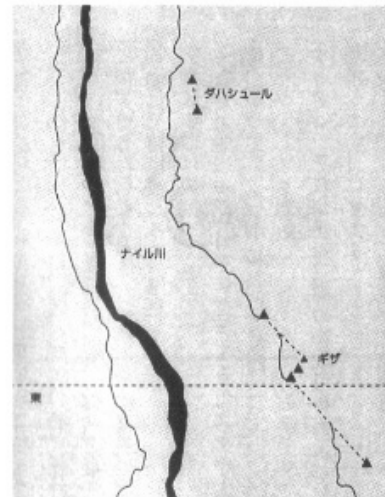
〈疑問〉

- 「大和三山」は元三輪山ダイヤ形に、対応してつくられたピラミッドではないのか？
- では、なぜ、ピラミッドをつくったのか？
- 何か意図や意味があるはず。
 - ➡ 「**約束の地**」と関係があるのかもしれない？
- エジプトの「三大ピラミッド」は、BC10450年の「オリオン三星」を地上の再現したもの
 - 天体図を見れば「大和三山ピラミッド」をつくった意味がわかるのではないか

エジプトの「三大ピラミッド」とオリオン三星

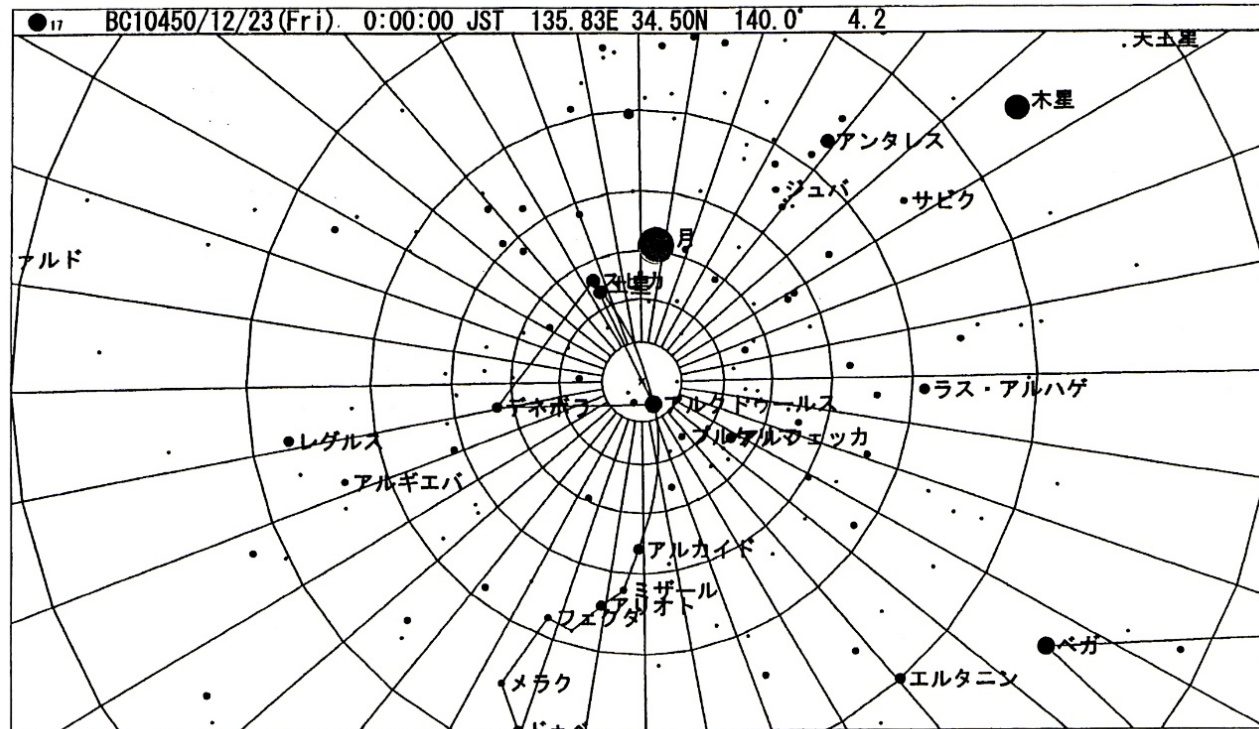


◀夜空に輝くオリオン座とヒヤデス星団。古代人は、夜空を神々の世界と考えていた。それゆえ地上の神殿もまた、夜空の星に対応させたのかもしれない。



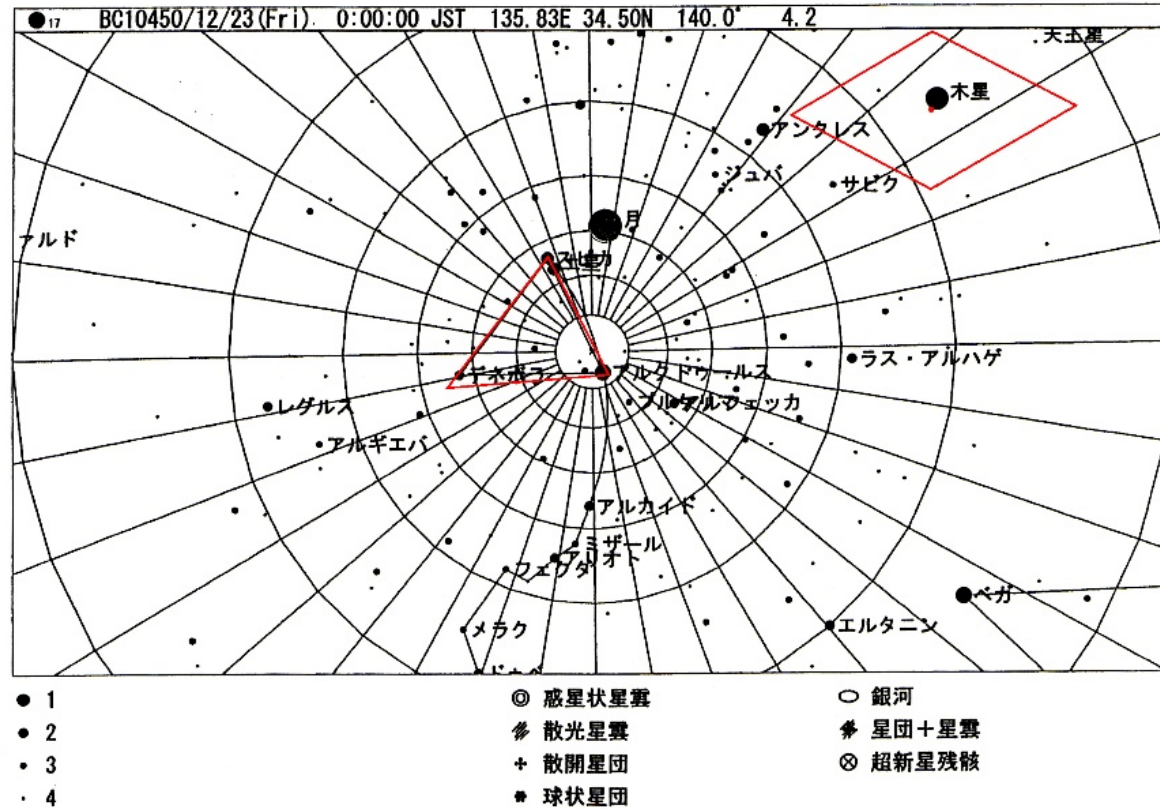
◀エジプトのピラミッドの配置図。驚くことに、オリオン座の三ツ星のほか、ヒヤデス星団の位置にピラミッドが建立されている。しかも、驚くことに、天の川がナイル川に対応している。

BC 10450年冬至（0時0分0秒）の天体図（奈良県桜井市）



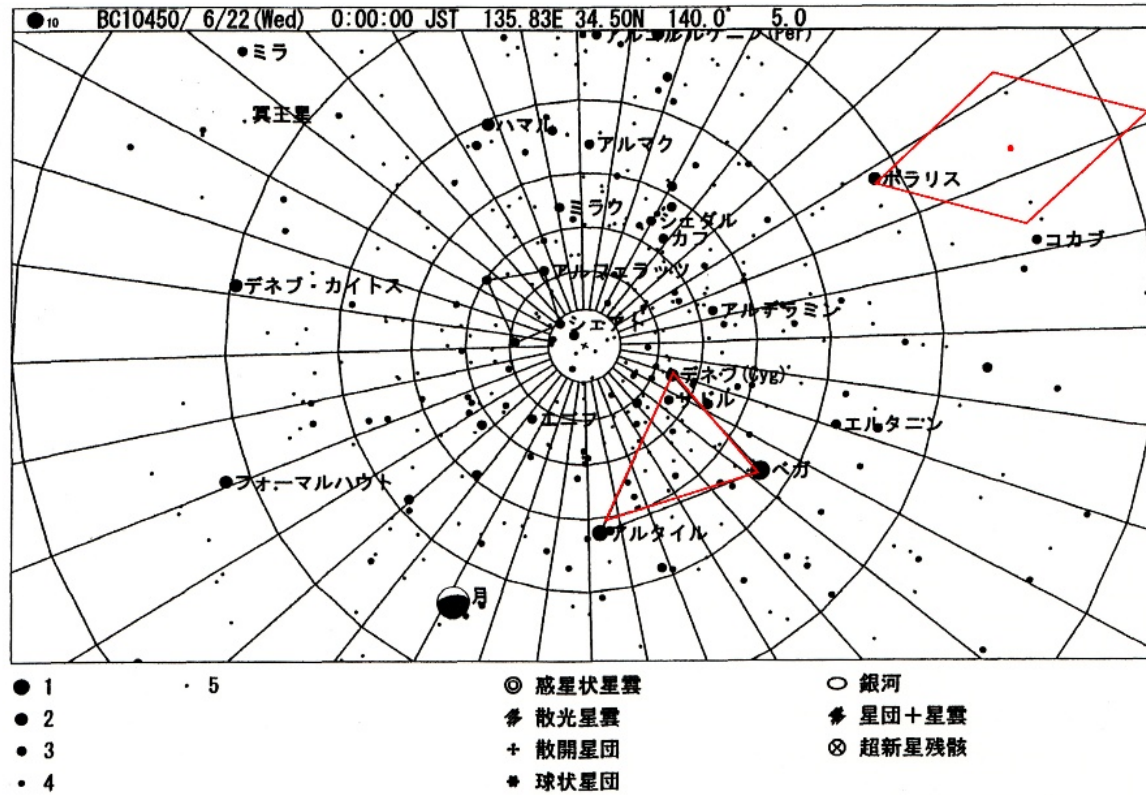
- | | | |
|-----|---------|---------|
| ● 1 | ◎ 惑星状星雲 | ○ 銀河 |
| ● 2 | ◇ 散光星雲 | ✦ 星団+星雲 |
| ● 3 | + 散開星団 | ⊗ 超新星残骸 |
| ● 4 | * 球状星団 | |

BC 10450年冬至の天体図と「大和三山と元三輪山ダイヤ形」



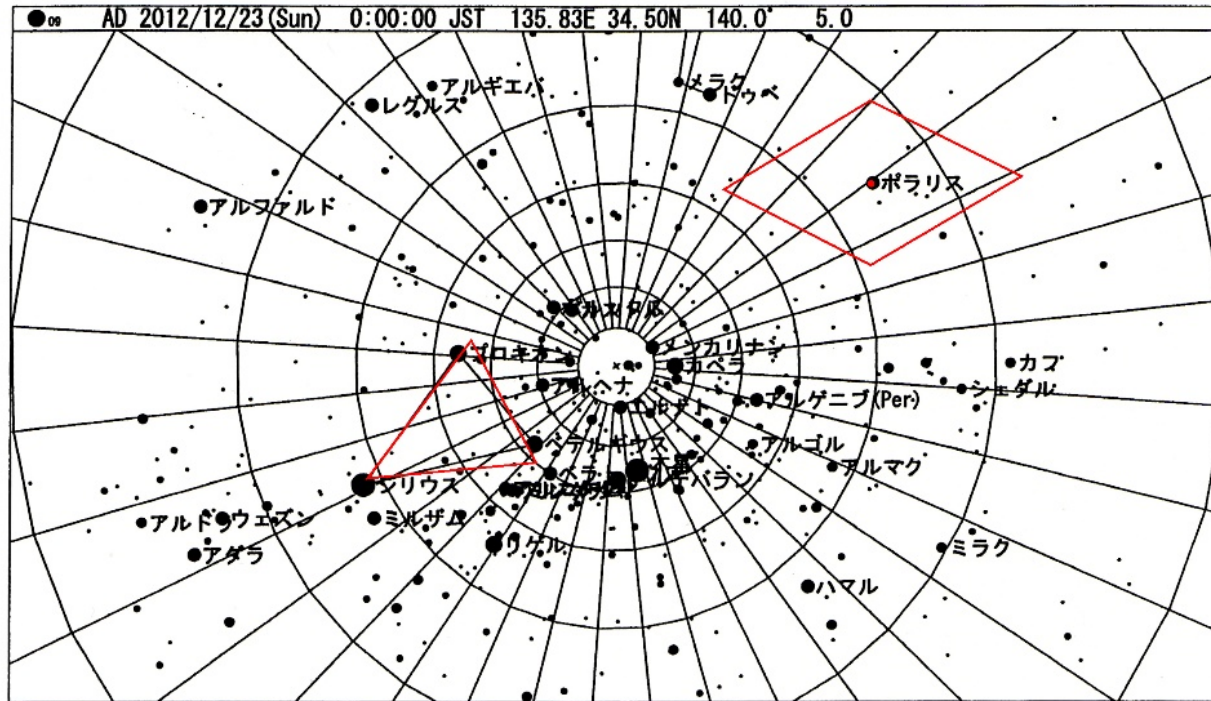
※ 「木星」・・・「ダイヤ形の中心」

BC 10450年夏至の天体図と「大和三山と元三輪山ダイヤ形」



※ 「ポラリス」・・・「ダイヤ形の西（左）」

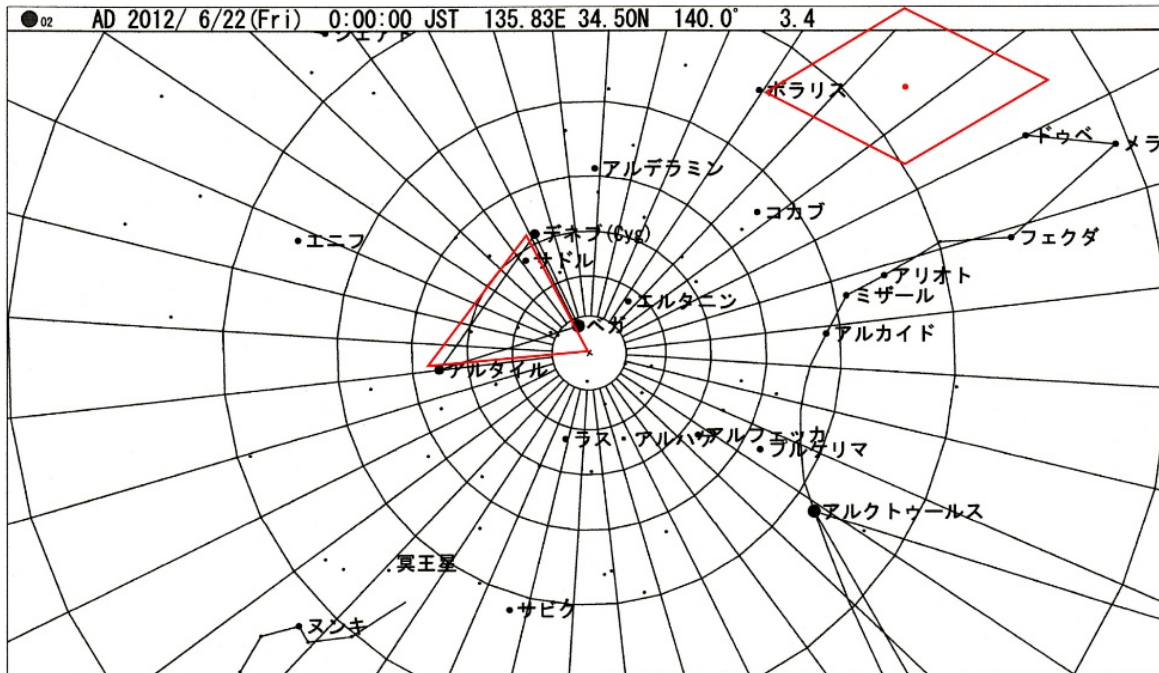
AD 2012年冬至の天体図と「大和三山と元三輪山ダイヤ形」



- | | | | |
|-----|-----|---------|---------|
| ● 1 | ● 5 | ◎ 惑星状星雲 | ○ 銀河 |
| ● 2 | | ✠ 散光星雲 | ✠ 星団+星雲 |
| ● 3 | | + 散開星団 | ⊗ 超新星残骸 |
| ● 4 | | * 球状星団 | |

※ 「ポラリス」・・「ダイヤの中心」

AD 2012年夏至の天体図と「大和三山と元三輪山ダイヤ形」



- 1
- 2
- 3
- ◎ 惑星状星雲
- ✧ 散光星雲
- + 散開星団
- * 球状星団
- 銀河
- ✧ 星団+星雲
- ⊗ 超新星残骸

※ 「ポラリス」・・・「ダイヤ形の西 (左)」

星の暗号（「大和三山と元三輪山ダイヤ形」と「天体図」の対応関係）

BC 1 0 4 5 0 年（始まりの時）

夏至 ダイヤ形 左（ポラリス）

冬至 ダイヤ形 中央（木星）

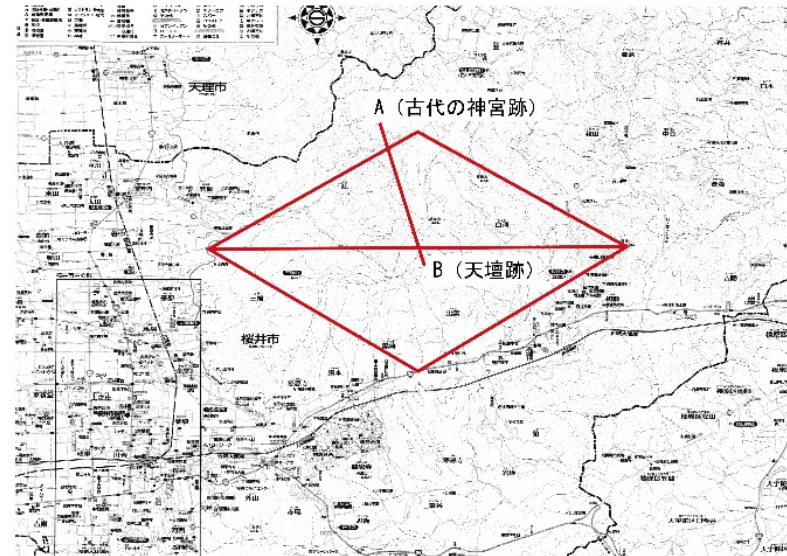
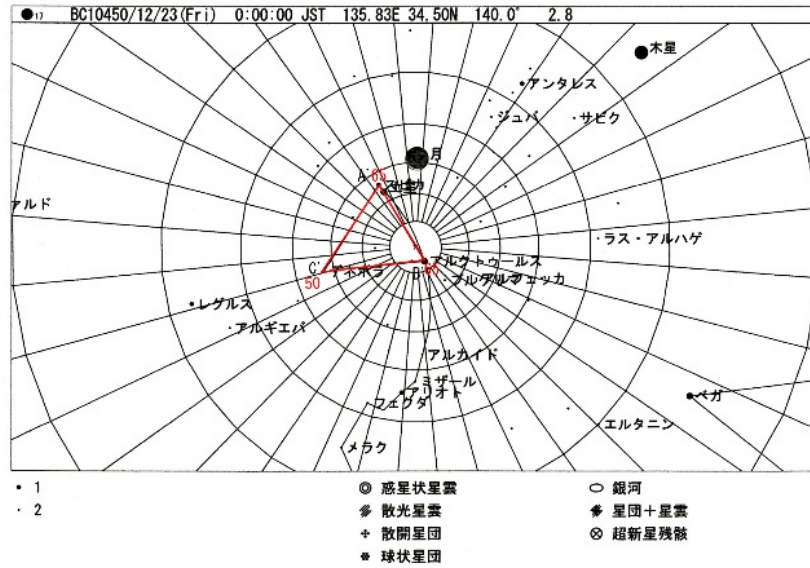
AD 2 0 1 2（終わりの時）

夏至 ダイヤ形 左（ポラリス）

冬至 ダイヤ形 中央（ポラリス）

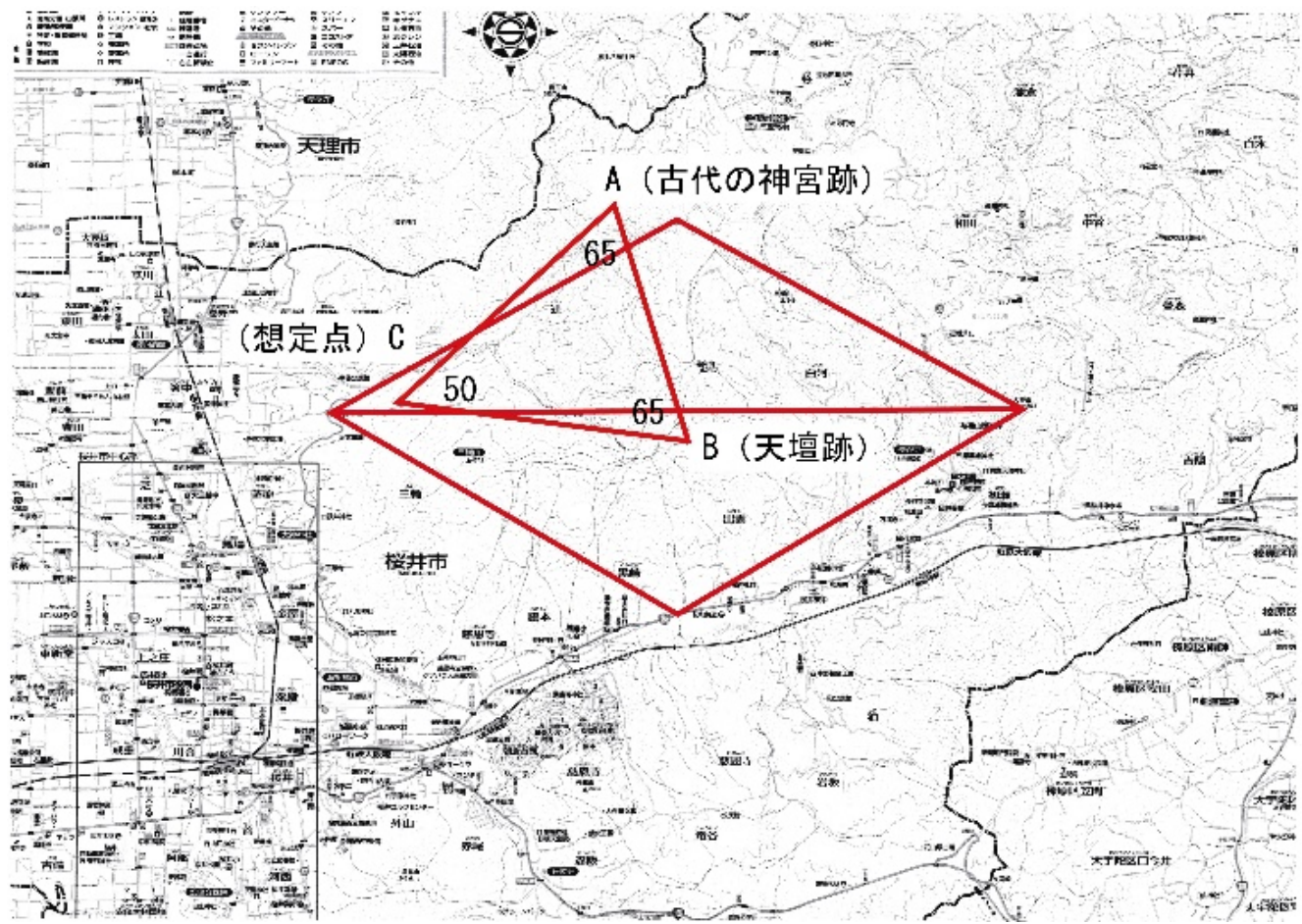
- ◆ 「2つの時」と「2つの場所」が浮かび上がってくる
 - ➡ 「星の暗号」
- ◆ 「始まりの時」(BC 10450年)
 - ➡ 新しい文明の始まりの時 (=古い文明の終わりの時)
 - 「終わりの時」(AD 2012年)
 - ➡ 古い文明の終わりの時 (=新しい文明の始まりの時)
 - ➡ 「2つの時」は1つの「約束の時」
- ◆ 「2つの場所」は1つの「約束の地」を示す？

BC 10450年冬至の天体図の「星の三角形」と地図のライン

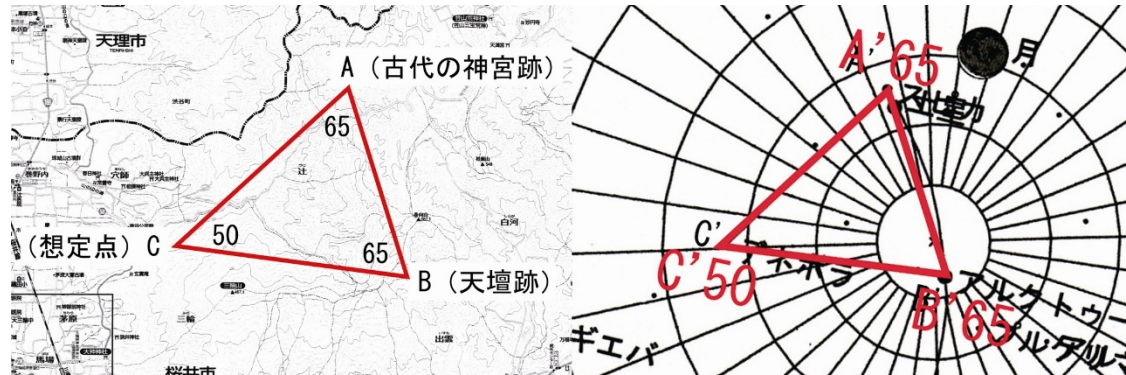


天壇跡

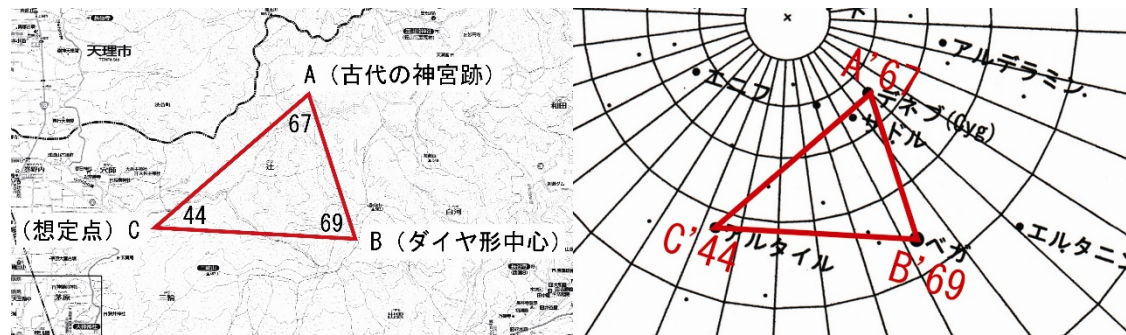




BC 10450年 (冬至)



BC 10450年 (夏至)

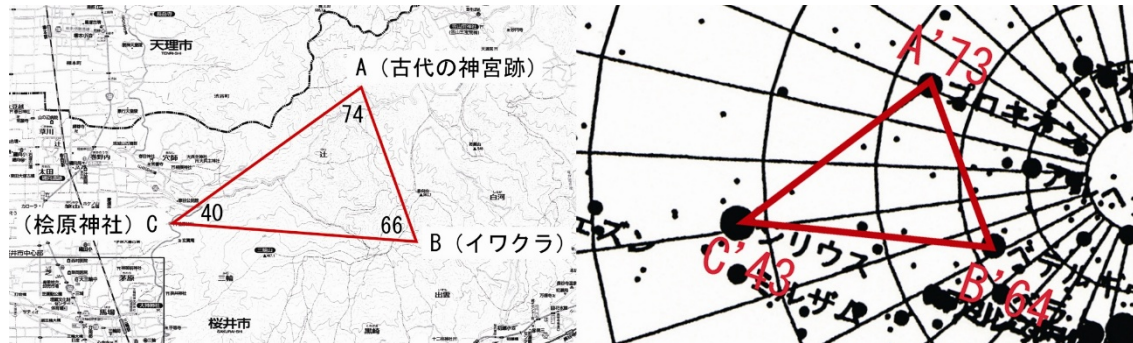


※想定点の C 点が一致 (同じ場所)

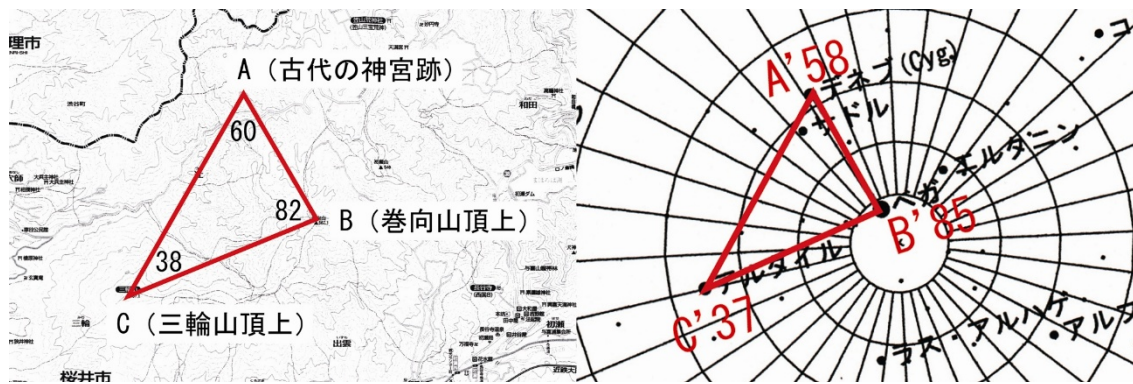
想定点（C）の目印（イワクラ）



AD 2012年 (冬至)



AD 2012年 (夏至)



ダンノダイラのイワクラ



星の暗号

地球の崩壊と再生の「約束の時」と、その時、
地球を再創造するために「約束の人」が再臨する
「約束の地」を示している！

◆なぜ、エジプトの三大ピラミッドに、BC 10450
年という時が刻まれたのか？

➡「星の暗号」を完成させるため

➡エジプトの三大ピラミッドは「星の暗号」の暗号装置

星の暗号者とは

◆古代のインド神話

地球規模の大洪水後に生き残った者たちは、新時代に「一つの機関」あるいは「結社」によって古代の知識を再び広めた。

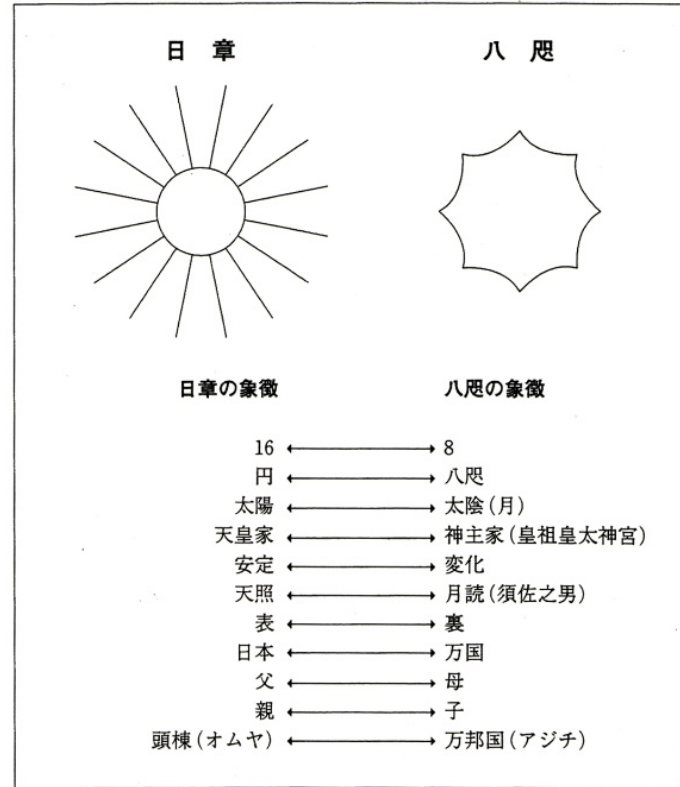
(『神々の世界』 グラハム・ハンコック)

つちみかどかねつぐ

◆土御門兼嗣 (秦氏の末裔、秦氏の棟梁) 氏の発言

「日本からエジプトに行ってピラミッドの建設に携わり、再び日本に戻ってきた」(『サムライ開運法』(株) ヴォイス)

◆八咫は月を象徴する 外宮＝月の宮



日章(表菊)と八咫(裏菊)は表裏一体の関係であり、象徴するものがそれぞれ違う。

参考

ひばら 桜原 (約束の地) と 弓月岳 弓月君 (秦氏のリーダー)

星の暗号者

世界が「土の海」になるような大異変の時に、
日本の「失われた文明」と神の教え（世の元の教え）
を世界中に広げて世界を立て直し、その後、世界統
治のための外政機関である「外宮」（月の宮）の担当
者になった。

【最も伝えたい重要なこと】

終わりと始まりの「約束の時」に、日本の秘密結社「ヤタガラス」
（暗号者）は、「失われた文明」を世界中に伝えて世界を立て直し、
日本の神の教え（世の元の教え）による神聖政治によって、世界を一つの「神の世」にした。

◆かつて暗号者が行ったのと同じように、再び、私たち日本人は
「約束の地」に集う人たちが中心になって、現代の文明を次の時代の世界中に伝えて世界を立て直し、「約束の人」によって甦った神の教え
（世の元の教え）による神聖政治によって、世界を一つの「神の世」にする使命が与えられているのではないか！！